

中国東北部平和ツアー 731部隊跡の 記念館を見学

その1

川村かつ枝



で食べたが(円が使えた)。機内食も出てお腹はパンパン。夕食はレストランの予定だったが駅までのバスがこんで結局新幹線の中でお弁当を食べることになった。日本と違い中国の新幹線は飛行機と同じような身体チェックと荷物検査があり、なにしろ人も多いので(シエンヤンの人口は1200万人)大きい荷物を引きずりながら死に物狂いで乗り込んだ。お弁当はもちろん中華料理、味は良かったがどの料理も、色が茶色1色。見た目の美味しさは全くなかった。ここで私はハードな旅に備えるべく気を引き締めたのだ。

2日目は私たちがいちばん訪れたかった731部隊跡の記念館を見学。私たちを迎えてくれた若い美人の学芸員の方が「自分の眼で見たものを、しっかりと周りの人に伝えてほしい」と。歴史をありのまま伝えようとする中国の姿勢を感じました。1年半前に新しく建ったという記念館は飛行機のブラックボックスと破壊されずに残っていた3本のボイラーの煙突を象徴した建物になっていた。(写真)



そして731部隊が占有していた広大な敷地を象徴した建物になっていた。(写真)

8月26日から9月1日まで泊7日の中国東北部の平和ツアーに行ってきた。日中友好協会と旅システムが共同企画で計画した旅に参加させてもらったのだ。最初人数が集まらないというので周りの人たちに声をかけたが、中国と聞くと楽しそうでないから嫌と一様に断られた。仕方なく高知からは夫と二人だけで参加した。一行は22名、途中のチチハルは毒ガスの裁判の手伝いをしているといふ北海道大学の先生が参加して23名だった。22人は北海道から、千葉から1名、私たち高知からの2名のツアーであった。

私たち二人は岡山空港からインチョンへ飛び、そこでツアーに合流した。インチョンからシエンヤン(瀋陽)へ飛び、そこからハルビン迄は新幹線の旅、列車の遅れなどもあり、ハルピンのホテルに着いたのは午後10時、時差が1時間あるので5時に自宅を出てから18時間の移動である。昼食はインチョン空港

すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願書

*お届けしています。上記の教育署名の集約をしています。事務局の方へ返送をお願いいたします。

地のあるところにボイラーのあと、ネズミの飼育室、凍傷実験のための建物、復元したマルタを収容していた建物などをカート(電気自動車)で案内してもらった。館内は中国語、ハンガール語、日本語で説明が聞けるようになっている。資料写真や解剖台、凍傷実験場なども復元展示してあった。

記念館を出るとぐったりしてしまいが、きょうはもうこれで充分と思っただけ、午後はハルビン駅(西駅、中央駅と二つある)

満鉄時代のハルピン駅にある安城根の記念館や伊藤博文が射殺された現場などを見てまわり、最後は人込みをかき分け、かき分け世界一長いという歩行者天国を歩いて、歩いて、歩いて、夕食のロシア料理店へたどり着いた。ロシア料理店でポトフを食べた。ガイドのすすめで地元のコーリヤン酒を勧められ、飲めもしないのに味わってみた。店の舞台にはクリムトの大きな絵があり、その前で演奏のサービスがあった。私たちのために日本の曲も演奏してくれた。

さて、3日目は、ホテルを出てすぐに新幹線でチチハルへ。チチハルには日本の大久野島から運ばれた毒ガスが爆弾に詰め替える部隊があつて、終戦時に廃棄したものがいまだに地元の人たちを苦しめているようです。毒ガス入りドラム缶が発掘された場所、汚染された土が運ばれた小学校等を訪れました。裁判闘争に関わっている方の参加もあり、詳しいお話を聞くことができました。チチハル宿泊。

10月2日、自由民権記念館で女性「九条の会」高知11周年のつどいが開かれ、約80人が参加しました。

岡豊高校の松居孝行さんの二胡演奏でつどいは始まり、二胡のゆったりとした、幽玄な調べにうっとり、心が洗われるようでした。

徳平時世話人が、ちよほど10月2日にこの会が結成されたこと、会の3つの柱——国際女性ア、平和ツアー、つどいについて話されました。赤いモノを身につけて戦争法廃止をアピールする「女の平和

女性「九条の会」高知11周年のつどい

松本 縁



講演 横湯 園子 さん

人に対話で戦争法廃止の声を広げよう、という呼びかけを受け、樽本事務局長が1人が2人に、2人が4人に、対話で伝えようという行動提起を行いました。

ヒューマンチェーイン」の呼びかけ人、横湯園子さんが「女性と憲法」平等実現のために」と題して講演しました。戦前の治安維持法で逮捕、拷問された母親が戦後、輸血の際の注射針を見て記憶がよみがえり、暴れた。母親とともに拷問された知人から針で拷問されたことと聞いたことがある。これが戦争だ、と語りました。また、不登校、ひきこもり問題に長年かかわってきた立場から、毎年10万人以上の子どもたちが不登校になり、いじめ自殺は後を絶たず、貧困の拡大による家庭崩壊、結核が増加している実態をあげ、子どもたちに命の軽視や貧困、学校現場やメディアの自由にもつげない状態など戦争前後の徴候が広がっている、と続けました。

そして、身近な人に対話で戦争法廃止の声を広げよう、という呼びかけを受け、樽本事務局長が1人が2人に、2人が4人に、対話で伝えようという行動提起を行いました。



2016望年会 & 芸能祭

杯を交わしながら、楽しいひと時を過ごしませんか。

と き 12月4日(日) 午後3時より
と 場 所 高知城ホール 4F
内 容 作品展示(写真、絵画、書、織物など予定)
踊り(募集中) 音楽(募集中)

参加費 5000円
作品や一芸を募集しています。ぜひ仲間の皆さんに披露してください。